

みんなで赤城山です

山行日：9月6日

参加者：鴨志田、柳、寺内、桑原

工程：黒檜山登山口 8:00－黒檜山 9:38－駒ヶ岳 10:30－黒檜山登山口 11:22

新しく山の会に入会された、柳さんと寺内さんと桑原さんと一緒に、会に入会して初めての山行として赤城山へ行ってまいりました。初めての山行であり、皆さんの走力（歩力かな）も今ひとつ分からず、置いて行くのか、行かれるかとの不安の中で歩いてまいりました。

3日前の天気予報は、晴れとのことであったが、例年と比べ遅れた秋雨前線の影響で、刻々と予報天気が代わり、当日は、松戸駅前に集合し、顔合わせ後に中止して、駅前解散も視野に入れて豪雨の中を松戸駅前に車を進めた。初めての山の会の山行に、緊張して前夜はほとんど眠れなかったKさん、筑波山と富士山を登ったきりのYさん、去年の荒島岳後の久々の山であるTさんと協議し（本当かな）、雨具持参を確認のうえ、雨の中の山行と距離の短縮ありを宣言して自己紹介後

に、時間通りに千葉銀行前を出発した。

途中までは雨の中の運転となるが、群馬に入り切りから、雨がやみ雲間から青空も見え隠れし始めたが、いかんせん、赤城山の上は雲に隠れたままであった。黒檜山の駐車場に車をとめて、さっそく雨具を上下装着し、いざ雨の中を黒檜山に向かって入山した。

こうして記録を書いている今、冷静に考えれば、雨の中の山行、初めての山の会の山行、一応事務局長からの声掛けによる山行であり、緊張と諦めと呆れの入り混じった状況

で、行きたくない、登らないとは言えなかったのかと、そのいつもの強引さに反省の感あります。

黒檜山への路は、直登であり、1350mから1827mへ400m以上を一気に登る険しいものです。小生を先頭にして、Tさん、Kさん、Yさんの順で登る。少々自重気味に歩むが、Tさん、Kさんが緊張気味、かつ必死についてくるひしひし感が伝わると、いつの間にかランナーの意地が見え隠れし、ついつい足が早まる。そんな折、ここで新たなストoppを発見した。ラストを歩くYさんは、マイペース、おっとりとした足取りで、かつ、疲れがたまると、立ち止まり、ヒョイと後ろを向いて休憩する。これは、一敏さんを彷彿するこの間のタイミングのとり方が何ともうまい。数回の休憩を経て頂上に至るが、後で記録を見ると、コースタイム1時間35分を、1時間23分で登り切る。この値はいろいろな意味で、十分に反省の余地ありと実感する。ここで記念写真をとる。

頂上奥の展望地では、見えない上州武尊や日光白根山を指し示すと、皆さんも楽しそうに展望いただいた。頼もしいかつ愉快的な皆さんと意気投合した登山でした。次回の山行が楽しみです。

